

さっぽろ医療連携セミナー

Sapporo Medical Cooperation Seminar

開催のご案内

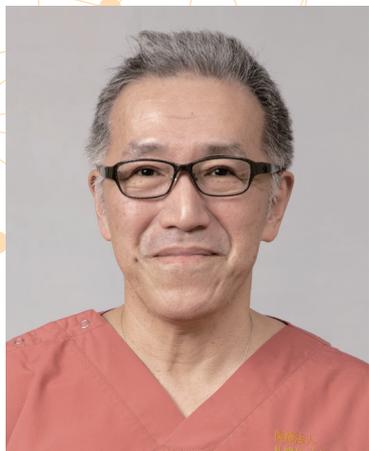
ごあいさつ

2008年4月に札幌市東区で札幌心臓血管クリニックを開院して以来、お陰様で満17年を経過することができました。この間数多くの患者様を御紹介いただきまして誠に有り難うございました。

当クリニックは、豊富な臨床経験を有する循環器専門医が最新の診断機器を駆使し、循環器疾患を有する患者様に最新最良の医療を提供することを目標として開設されました。そこで、札幌市内で第一線の臨床を担当されている諸先生に、当クリニックが目指す循環器診療をご紹介させていただく情報交換の場として、『さっぽろ医療連携セミナー』を開催することといたしました。今年度は皆様の日々の診療に役立つ新しい情報を提供できますよう6回のセミナーを企画いたしましたので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

本セミナー企画担当 / 医療法人札幌ハートセンター理事 / 札幌心臓血管クリニック
佐藤 勝彦

- **開催日程**：裏面をご参照ください
- **開催時間**：午後7時から1時間（6時50分から製品話題提供）
- **開催場所**：ホテルマイステイズ札幌アспен2階「アспенA」
札幌市北区北8条西4丁目5番地 TEL 011-700-2111
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、Web開催になる場合もございます。各回でご確認ください。
- **連絡先**：医療法人札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック
（担当者窓口：地域連携課 [直通] 011-787-7778）
※または各回の共催製薬会社 MR
- **その他**：参加費無料です（軽食付き）
診断に迷った心電図など、何でもお持ち寄りください。ご相談に応じます。



札幌ハートセンター 〈役員のご紹介〉

〈医療法人札幌ハートセンター〉
理事長
最高医療責任者 (CMO)
〈札幌心臓血管クリニック〉
院長
循環器内科

藤田 勉
ふじた つとむ

〈医療法人札幌ハートセンター〉
理事
連携・マーケティング最高責任者 (CCMO)
循環器内科

佐藤 勝彦
さとう かつひこ



医療法人 札幌ハートセンター

札幌心臓血管クリニック

2025年度 さっぽろ医療連携セミナー

開催スケジュールと話題

4月9日(水)

「抗血小板剤と胃粘膜障害」

狭心症や脳梗塞などに投与する抗血小板剤による消化管粘膜障害をはじめ、胃・十二指腸潰瘍、逆流性食道炎などの消化管疾患の病態と管理についてわかりやすくお話しいたします。

上原内科クリニック

演者：上原 聡 先生

6月11日(水)

「心アミロイドーシスのお話」

心アミロイドーシスは比較的稀な疾患ですが、心不全の原因の一つとして近年注目されています。その病態と診断や治療などについてわかりやすく解説していただきます。

北海道大学大学院医学研究院 循環病態内科学

演者：永井 利幸 先生

8月6日(水)

「糖尿病治療における最近の話題」 ＝ チルゼパチドの使用法も含めて ＝

糖尿病は「血管の病」とも言われ、全身の動脈硬化に関与しています。チルゼパチドを含めた新しい血糖降下薬などの話題を中心にその管理と実際の処方についてお話しいたします。

王子総合病院 循環器内科・糖尿病内科

演者：三木 隆幸 先生

10月1日(水)

「心不全治療の新しい展開」

心不全の治療薬は、長く利尿剤や ACE 阻害剤、β 遮断剤などが主流でしたが、近年全く新しい心不全治療剤が開発されました。その特徴や使用方法等についてわかりやすく解説していただきます。

札幌整形循環器病院

演者：尾崎 威文 先生

12月3日(水)

「2型糖尿病を合併する慢性腎臓病のお話」

慢性腎臓病に糖尿病が合併すると、心血管系イベントのリスクが高くなることが報告されています。その予防や治療に関してわかりやすく解説していただきます

札幌医科大学医学部
循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座

演者：矢野 俊之 先生

2月4日(水)

「脳梗塞の予防から最新治療まで」

脳梗塞の原因として心房細動による心原性血栓があります。その予防と脳梗塞に対する急性期治療の最新情報をわかりやすく解説していただきます

白石記念病院 脳血管内治療センター

演者：恩田 敏之 先生

2024年度 さっぽろ医療連携セミナー

開催スケジュールと話題

4月10日(水)

「抗血小板剤と胃粘膜障害」

動脈硬化による血栓性疾患に対しては通常抗血栓薬を投与しますが、同時にこれによる消化管粘膜傷害が懸念されます。その病態や管理などについてわかりやすくお話していただきます。

さいわい内科消化器クリニック

演者：藤田 朋紀 先生

6月5日(水)

「アクティブシニアへの心房細動の治療について」

心房細動患者に生じる心原性脳血栓塞栓症は重篤な後遺症を残すため抗凝固療法が必須です。その実際の処方例などについてわかりやすくお話していただきます。

帯広厚生病院

演者：西田 絢一 先生

8月7日(水)

「糖尿病治療の最前線」 ＝ 私の処方と考え方 ＝

糖尿病は「血管の病」とも言われ、全身の動脈硬化に関与しています。新しい血糖降下薬などの話題を中心にその管理と実際の処方についてお話していただきます。

栗原内科

演者：栗原 弘義 先生

10月9日(水)

「心房細動と心不全の密接な関係について」

心房細動は心原性血栓塞栓症の原因となるだけでなく、慢性化するとうっ血性心不全を惹起する場合があります。心房細動の管理や心不全の予防等についてわかりやすく解説していただきます。

札幌医科大学
循環器胃腸代謝内科学講座

演者：矢野 俊之 先生

12月4日(水)

「急性期から慢性期にわたる心不全管理について」

心不全の管理は発症時の急性期治療のみならずリハビリを含めた長期にわたる慢性期治療やその予防も重要です。新しい経口心不全治療薬の話題も含めて一連の心不全管理をわかりやすく解説していただきます。

あさぶハート・心リハクリニック

演者：津田 正哉 先生

2月5日(水)

「脳梗塞の予防から最新治療まで」

脳梗塞の原因として心房細動による心原性血栓があります。その予防と脳梗塞に対する急性期治療の最新情報をわかりやすく解説していただきます。

札幌麻生脳神経外科病院

演者：齋藤 久泰 先生

2023年度 さっぽろ医療連携セミナー

開催スケジュールと話題

4月12日(水)

「NSAIDs 抗血栓薬と 消化管粘膜傷害」

動脈硬化による血栓性疾患に対しては通常抗血栓薬を投与しますが、同時にこれによる消化管粘膜傷害が懸念されます。その病態や管理などについてわかりやすくお話していただきます。

交雄会新さっぽろ病院

演者：渡 二郎 先生

6月7日(水)

「最新の心不全治療について」

心不全は病態の一つであり、その成因は様々です。急性期と慢性期の心不全でその対応も異なります。最近使用可能となった新しい心不全治療薬も含め、その管理についてわかりやすく解説していただきます。

王子総合病院

演者：三木 隆幸 先生

8月9日(水)

「糖尿病治療の最前線」 ＝ 私の処方と考え方 ＝

糖尿病は「血管の病」とも言われ、全身の動脈効果に関与しています。新しい血糖降下薬などの話題を中心にその管理と実際の処方についてお話していただきます。

青木内科クリニック

演者：三好 秀明 先生

10月11日(水)

「非弁膜症性心房細動に 対する抗凝固療法」

心房細動患者に生じる心原性脳血栓塞栓症は重篤な後遺症を残すため抗凝固療法が必須です。その実際の処方例などについてわかりやすくお話していただきます。

漢和会江別病院

演者：松本 純一 先生

12月6日(火)

「予防から慢性期にわたる心不全管理について」

心不全の管理は発症時の急性期治療や長期にわたる慢性期治療のみならず、その予防も重要です。新しい経口心不全治療薬の話題も含めて一連の心不全管理をわかりやすく解説していただきます。

天使病院

演者：西村 光弘 先生

2月7日(水)

「脳梗塞予防としての適切な 抗凝固療法について」

心房細動は心不全の原因になると同時に重篤な心原性脳血栓塞栓症も引き起こします。その予防としての適切な抗凝固療法の実際についてわかりやすくお話していただきます。

JR 札幌病院

演者：長谷川 徹 先生

2022年度 さっぽろ医療連携セミナー

開催スケジュールと話題

4月6日(水)

「抗血小板剤と胃粘膜障害」

動脈硬化による血栓性疾患に対しては通常抗血小板剤を投与しますが、同時にこれによる消化管粘膜障害が懸念されます。その病態や管理などについてわかりやすくお話していただきます。

国立病院機構 函館病院

演者：加藤 元嗣 先生

6月28日(火)

「最新の心不全治療について」

心不全は病態の一つであり、その成因は様々です。急性期と慢性期の心不全でその対応も異なります。画像診断法や非薬物療法、さらに最新の心不全治療薬などに関してわかりやすく解説いたします。

札幌心臓血管クリニック

演者：八戸 大輔

8月3日(水)

「糖尿病治療の最前線」 = 私の処方と考え方 =

糖尿病は「血管の病」とも言われ、全身の動脈効果に関与しています。新しい血糖降下剤などの話題を中心にその管理と処方についてお話していただきます。

JR 札幌病院

演者：吉田 英昭 先生

10月5日(水)

「非弁膜症性心房細動に対する 根治療法と抗凝固療法」

心房細動は心不全の原因になると同時に重篤な心原性脳血栓塞栓症も引き起こします。その根治療法や抗凝固療法の実際についてわかりやすくお話していただきます。

札幌白石記念病院

演者：宮本 憲次郎 先生

12月13日(火)

「地域連携による心不全管理」

心不全の治療は専門医による急性期治療から、かかりつけ医による慢性期治療まで密接な連携が重要です。新しい経口心不全治療薬の話題も含めて、かかりつけ医による心不全管理についてお話していただきます。

あさぶハート・内科クリニック

演者：福島 新 先生

2月8日(水)

「脳梗塞予防としての抗凝固療法と 脳卒中治療の最新の話」

脳梗塞は特に深刻な後遺症を残し、患者本人のみならず家族や周囲の方々の大きな負担となります。その予防法と最新の脳卒中治療に関してわかりやすくお話していただきます。

中村記念病院

演者：上山 憲司 先生

2021年度 さっぽろ医療連携セミナー

開催スケジュールと話題

4月14日(水)

「糖尿病と脂質異常の最近の話題」

動脈硬化疾患の1次予防2次予防それぞれの観点からガイドラインや最新情報の解説と、心疾患リスク是正への診断や治療の点などで示唆に富む具体例を交えて分かりやすく解説します。

萬田記念病院

演者：種田 紳二 先生

6月9日(水)

「心房細動の治療と医療連携」

心房細動患者では種々の合併症にも目を向ける必要があります。その診療においては急性期病院とかかりつけ医との密な連携が重要です。今回はその合併症の診療及び病診連携の必要性を中心に解説していただきます

あさぶハート・内科クリニック

演者：福島 新 先生

8月4日(水)

「腎性貧血の新たな治療法」

心疾患と腎臓病は密接な関係があり（心腎連関）、腎性貧血は心疾患の予後を不良にします。腎性貧血の新薬、HIF-PH阻害薬について、従来のエリスロポエチン製剤との違いや効果などについて分かりやすく解説していただきます。

手稲溪仁会病院

演者：滝沢 英毅 先生

10月6日(水)

「不整脈と脳梗塞」

不整脈と脳梗塞には密接な関連性があります。心原性血栓症予防の重要性および脳卒中に対する最新の治療について、分かりやすく解説していただきます。

北海道脳神経外科記念病院

演者：青樹 毅 先生

12月8日(水)

「心不全治療の新しい展開」

心不全の治療は、長く利尿剤、ACE阻害剤、β遮断剤などが主流でしたが、近年全く新しい心不全治療剤が開発されました。その特徴や使用法等について分かりやすく解説していただきます。

総合東京病院

演者：滝村 英幸 先生

2月9日(水)

「高血圧治療の最近の話題」

2019年4月に最新の高血圧治療ガイドラインが発行されてから約3年が経過しました。その後に発売となった新薬も含め、高血圧治療の最近の話題を分かりやすく解説していただきます。

さっぽろ糖尿病・甲状腺クリニック

演者：竹内 淳 先生

2020年度 さっぽろ医療連携セミナー

開催スケジュールと話題

4月8日(水)

「循環器疾患の最近の話題」

動脈硬化疾患の1次予防2次予防それぞれの観点からガイドラインや最新情報の解説と、心疾患リスク是正への診断や治療の点などで示唆に富む具体例を交えて分かりやすく解説します。

札幌ハートセンター

演者：佐藤 勝彦

6月10日(水)

「低侵襲心臓手術と非薬物不整脈治療の最前線」

心臓血管外科における低侵襲手術の現状と不整脈に対する最新のカテーテル治療について分かりやすく解説します。

札幌心臓血管クリニック

演者：光島隆二 (心臓血管外科)
森田純次 (不整脈専門医)

8月5日(水)

「糖尿病治療の最前線」 ＝ 私の処方と考え方 ＝

糖尿病は「血管の病」とも言われ、全身の動脈硬化に関与しています。新しい血糖降下剤などの話題を中心にその管理と処方についてお話していただきます。

札幌厚生病院

演者：関口 雅友 先生

10月7日(水)

「不整脈と脳梗塞(仮)」

不整脈と脳梗塞には密接な関連性があります。心原性血栓症予防の重要性について、それぞれの専門医に分かりやすく解説していただきます。

札幌白石記念病院

演者：宮本 憲次郎 先生 (循環器内科)
野中 雅 先生 (脳神経外科)

12月16日(水)

「生活習慣病と心不全(仮)」

糖尿病や高血圧症などの生活習慣病は動脈硬化を促すだけでなく、心筋そのものにも直接障害を残します。最新の心不全治療についても詳しく解説します。

札幌心臓血管クリニック

演者：古堅 あずさ

2月10日(水)

「高血圧治療の最近の話題」

2019年4月に最新の高血圧治療ガイドラインが発行されてから約2年が経過しました。その後に発売となった新薬も含め、高血圧治療の最近の話題を分かりやすく解説していただきます。

西円山病院

演者：浦 信行 先生

2019年度 さっぽろ医療連携セミナー

開催スケジュールと話題

4月10日(水)

「ご紹介いただいた症例から学ぶこと」

昨年度1年間でご紹介いただきました症例の中から、虚血性心疾患や心不全、不整脈症例など、診断や治療の点などで示唆に富む症例を呈示して解説します。

札幌ハートセンター

演者：佐藤 勝彦

6月12日(水)

「心血管イベントを防ぐ透析」

透析患者は非透析患者より動脈硬化が進んでおり、心血管疾患の合併が多いことはよく知られていますが、心血管イベントを防ぐための透析方法について分かりやすく解説していただきます。

桑園中央病院

演者：松井 傑 先生

8月7日(水)

「内分泌疾患のお話」 ＝ 甲状腺と糖尿病 ＝

非専門医にとって甲状腺疾患は、その診断や治療法に困惑することが少なくありません。甲状腺疾患と糖尿病に関する最近の話題をお話していただきます。

さっぽろ糖尿病・甲状腺クリニック

演者：竹内 淳 先生

10月9日(水)

「心不全の基礎と臨床」 ＝ 病態を考えた個別治療 ＝

心不全は病態の一つであり、その成因は様々です。急性期と慢性期の心不全でその対応も異なります。画像診断法や非薬物療法なども含め、最新の話について分かりやすく解説いたします。

札幌心臓血管クリニック

演者：古堅 あずさ

12月11日(水)

「糖尿病治療の最前線」 ＝ 私の処方と考え方 ＝

糖尿病は「血管の病」とも言われ、全身の動脈硬化に関与しています。新しい血糖降下剤などの話題を中心にその管理と処方についてお話していただきます。

栗原内科

演者：栗原 義夫 先生

2月12日(水)

「不整脈と脳卒中のお話」

不整脈、特に心房細動は心原性脳血栓塞栓症の原因となり、その予防として抗凝固療法は重要です。脳卒中の最新の話について分かりやすく解説していただきます。

札幌麻生脳神経外科病院

演者：中村 俊孝 先生

2018年度 さっぽろ医療連携セミナー

開催スケジュールと話題

4月18日(水)

「開院 10 年間で学んだこと」

当クリニック開設から過去10年間でご紹介いただきました症例の中から、診断や治療の点などで示唆に富む症例を呈示して、分かりやすく解説いたします。

札幌心臓血管クリニック

演者：藤田 勉

6月20日(水)

「心血管外科の最新の話題」

＝ 低侵襲への工夫と挑戦 ＝

虚血性心疾患に対するバイパス術や、大動脈瘤や弁膜症に対する最新の術式など、心臓血管外科領域における最近の話題について分かりやすく解説いたします。

札幌心臓血管クリニック

演者：道井 洋吏

8月8日(水)

「慢性腎臓病と循環器疾患」

＝ 腎臓内科の出番はいつ? ＝

循環器疾患で通院中の方に生じる腎機能異常。「心腎連関」と呼ばれ病態は密接に関連しています。日常診療での対応と腎臓内科介入のタイミングについて解説します。

篠路はまなすクリニック

演者：工藤 岳秋

はまなす医院

工藤 立史

10月10日(水)

「心不全の基礎と臨床」

＝ 病態を考えた個別治療 ＝

心不全は病態の一つであり、その成因は様々です。急性期と慢性期の心不全でその対応も異なります。画像診断法や非薬物療法なども含め、最新の話題について分かりやすく解説いたします。

札幌心臓血管クリニック

演者：古堅 あずさ

12月12日(水)

「糖尿病治療の最前線」

＝ 私の処方と考え方 ＝

糖尿病は「血管の病」とも言われ、全身の動脈硬化に関与しています。新しい血糖降下剤などの話題を中心にその管理と処方についてお話していただきます。

よしだ内科クリニック院長

演者：谷口 潤

2月13日(水)

「不整脈治療の最前線」

＝ 診断から非薬物治療まで ＝

薬物療法では難治性の不整脈に対してはカテーテル治療が有効場合があります。その適応や最新の治療法などに関してわかりやすく解説いたします。

札幌心臓血管クリニック

演者：北井 敬之